



土屋 武雄 議員

質問

農林畜産業の人手不足の現状と解消対策は

町長

共同機械化と集落営農組織化の促進をする

質問 農家の高齢化は益々進み、歯止めが掛かっておらず早急に対策を講ずる必要がある。そこで実態を問う。

まず町内の農家の総数と65歳以上の農家数はどうか。

農林振興課長 農業従事者数、3,679人、うち65歳以上の従事者数は、1,596人で43.4%の高齢化率である。

質問 町内認定農業者数、集落営農組織数、農業法人数、及び組織連携広域化数は。

農林振興課長 町内認定農業者数68経営体、集落営農組織数48組織、農業法人数19経営体、組織連携広域化数1地区である。

質問 以上の高齢化実態から人手不足をどう受け止めているか。

町長 この5年間に人手不足が顕在



共同機械利用風景 もっと営農組織を増やしたい

化している。共同機械化導入、集落営農組織や法人化を進める必要があると認識する。

質問 そのための具体的対策は。

町長 法人化の促進、中山間地域直接支払交付金の集落単位での話し合いに担当職員を派遣し、担い手育成の支援をする。

質問 平成30年度から廃止になる農業者戸別所得補償制度等、大変厳しい環境である。手厚く保護されたい。

町長 農家全体で約9,000万円の減収にな



新設の「バス停」標識

る。仁多米(株)によるブランド加算金による米価維持や集落営農組織化促進等を図る。

質問 高齢者生活交通サポート事業について、利用者の状況は。

福祉事務所長 70歳以上で自家用車を持たない方へバスとタクシーに利用できる「サポート券」を年額1万円支給している。平成28年度からは、運転免許証を自主返納する65歳以上の方へ年額2万円のサポート券を3年間交付している。また、バス停まで400m以上ある方、バス停まで歩行困難な方へタクシー助成券を交付している。

質問 近隣市町にバスの運行の連携は、どこを拡大するのか。未調整ならその理由は。

企画財政課長 鳥上線、西比田線、高野線が該当する。スムーズな接続は鳥上線と山上線だが、1時間前までの予約が必要だ。その他は接続調整まで至っていない。理由は、両町とも通学生、JRとの接続時間を優先し、また、多数路線を運行するため車両や人員の調整で接続がスムーズにいかない。

質問 より丁寧で優しい接客サービスの改善を目的に、バス運行の22期事業計画をたてられた。その実施状況を問う。

まず一般旅客運送事業の「バス停」標識の更新はどのようにされたか。

企画財政課長 6年前から毎年10基程度の計画で更新している。今期は三沢線と内谷線の内10基を計画している。*順次更新されているが、まだ残っている。*早急に更新されたい。

質問 後期高齢者の乗車優遇措置は、具体的に何か。

企画財政課長 75歳以上の方に、本年4月からバス乗車定期券料金を

鳥上線交通のバス運行計画案について

を、通常の半額の1,500円とし、優遇措置を設けた。

質問 近隣市町にバスの運行の連携は、どこを拡大するのか。未調整ならその理由は。

企画財政課長 鳥上線、西比田線、高野線が該当する。スムーズな接続は鳥上線と山上線だが、1時間前までの予約が必要だ。その他は接続調整まで至っていない。理由は、両町とも通学生、JRとの接続時間を優先し、また、多数路線を運行するため車両や人員の調整で接続がスムーズにいかない。

*広域的なバス利用したい方からは、不満があるので、改善を求め